



プロジェクト名称

## 笑顔のまち なこそ復興プロジェクト

プロジェクト活動概要

福島県いわき市勿来地区は東日本大震災の津波によって被害を受けました。私たちはボランティア活動を通し、この地区の現状を目の当たりにし、支援の必要性を実感しました。そのため勿来地区で自分たちが復興支援に携わり、地元の人々はもちろん津波により勿来地区に移転して来た人々も笑顔にする取組を行っていきたくて考えています。勿来地区は、地元の人々に加え、他の地域から移転してきている人が多いという特徴を持った地域でもあり、高齢化が進んでいるという現状もあります。地元の人と移転してきた人、若年者と高齢者、それぞれの願いを大切にしながら、人と人が繋がっていくことで、真の復興に繋がると考えます。私たちも様々な人々と繋がりながら、勿来が未来像として描く“まちとまち、人と人がつながり、笑顔があふれるまち なこそ”の復興を実現していきたいと考えています。

活動状況報告&amp;活動写真など 活動期間：2014年10月1日～12月31日

### 【なこそ希望サロン祭り】

勿来地区で行われた“なこそ希望サロン祭り”にボランティアとして参加しました。

当日、私たちは飲食物の販売のサポートなどを行いました。

また、このイベントにボランティアとして参加していた筑波大学の学生と一緒に ALT(英語補助教師)の方とのワークショップも行いました。

イベントに参加し、筑波大学の学生、地元の方々など様々な方々と交流することができました。



当日の様子



当日の様子



## 【防災緑地会議】

引き続き防災緑地の会議への参加を行っています。

この会議には、東京藝術大学の先生方、被災地 3 地区の区長の方々、県の職員、市の職員、地元 NPO 等が参加しています。ワークショップ等を行い、現在整備が行われている岩間地区防災緑地の計画の検討を行っています。

私たちはこの会議に参加し、地元の方々とともにワークショップを行っています。

ここで寄せられた意見は自分たちが作成している岩間地区防災緑地の 3D イメージの修正にも活用しています。

第 4 回の防災緑地の会議の際には、私たちが作成した 3D イメージを用いて岩間地区に整備される防災緑地の 3D イメージを紹介しました。

参加された方からは「防災緑地の計画を図面で見ても立体的なイメージがしにくい。このような 3D のイメージがあれば実際にどのような場になるかが想像しやすい。」という声が聞かれました。

これから会議の際に寄せられた意見を参考にしながら 3D イメージの修正を行い、実際に整備される防災緑地により近いイメージになるように 3D イメージを改善していこうと考えています。



防災緑地会議での 3D イメージ紹介の様子





## 【苗木採集イベント】

福島県いわき市勿来地区に赴き、岩間町と小浜町で、将来、防災緑地に植える植物の苗木の採集を行いました。この活動は6月にも行われたのですが、近隣の小学校に配布していくにはまだまだ苗木の数が足りないということで第二回目を行うこととなりました。

現地では岩間町住民、小浜町住民、建設事務所、市の職員、NPO など様々な所からの参加者と協力しながら作業を行いました。今回はプロジェクトメンバー以外の学生参加も呼びかけ、一緒に苗木採集を行いました。また、今回は筑波大学からも学生が参加していました。苗木採集終了後には、私たちが同時に関わっている岩間防災緑地について、私たちが作成した防災緑地のイメージの動画を用いて、苗木採集に参加された岩間の住民の方々、筑波大学の学生に説明を行いました。また、現地見学も行い、プロジェクトメンバーではない学生に被災地三地区について私たちがどのような活動を行っているか、勿来地区が東日本大震災による被害を受け現在どのような状態なのかということを説明しつつ現地を見て回りました。



当日の様子



### 【現地調査】

被災地の 3 地区(錦須賀、岩間、小浜)の現地見学と植田駅周辺のまちあるきを行いました。

被災地 3 地区の見学では防潮堤の整備、防災緑地の整備工事など工事の様子が見られました。

錦須賀では防潮堤が形になってきていたり、被災した住宅の撤去が進んだりと私たちが初めて錦須賀を見学した時との変化を大きく感じました。植田駅周辺のまちあるきでは植田駅周辺にある商店街の利用状況や魅力的なポイントを見て回りました。勿来地区の魅力的なポイントを被災地の復興と合わせて紹介することが効果的ではないかという考えも挙がりました。



### 今後の活動計画、目標、意気込みなど

#### 【予定】

#### ① いわき市錦須賀地区の復興計画の提案

これまでの活動で防災集団移転跡地となっている福島県いわき市錦須賀地区の活用方法の検討を行っているのでその計画を地元の方々、NPOに提案します。

#### ② 岩間地区防災緑地の 3D イメージ作成

引き続き 3D イメージを見せた際に頂いたアドバイス等を参考にし、3D イメージの修正等を行い詳細な 3D イメージの作成をします。

#### ③ 岩間、小浜地区の住民への 3D イメージの紹介

現在は自分たちの作成したイメージは一部の防災緑地会議に関わるの方々しか見られていません。岩間、小浜の住民の方々は防災緑地について平面図でのイメージしかなく立体的なイメージを持ちにくい状態であると考えます。そのため、自分たちが住民の方々に 3D イメージを用いた紹介を行い、住民の方々に復興への関心を持っていただくことで、自分たちの目指す地元住民を巻き込んだ復興に繋げていくきっかけとなるのではないかと考えています。

#### 【目標】

私たちのプロジェクトでは、被災地についての現状を自分の目で見たり、そこで人や自然と触れ合ったりする中で、感じたこと・考えたこと・行動したことを発信し、被災地の今の状況と可能な支援について知ってもらい、一人でも多くの人と繋がりながら、復興の輪を広げていきたいと考えています。今年度、学生プロジェクトとしてこのプロジェクトを立ち上げた段階では、自分たちの持つ勿来地区の情報は多くありませんでした。しかし、活動を続けていき、地元 NPO の方々や現地の住民の方々にお話を聞いたり、現地を見学したりといった活動により、復興に関わって自分たちにできる活動が、より具体的になってきました。具体的になった自分たちにできる復興活動を形にしていきたいと思えます。